

まちのたから

発見



職人氣質の腕がなる

はやみず たてお
速水 建夫さん (深山口)



▲作品の文字は速水さん手書きのものもたくさんあります

●竹細工との出会い
約1年前、速水さんは、竹を文字の形にくり抜き、その文字分を押し出し浮き上がらせる竹細工に出会われました。作品を見た瞬間に「これを自分も作ってみたい」と思ったという速水さん。もとより製造業に従事されていたこともあり、作り方を教わって、初めて作られた作品も大変立派なものです。

た作品は50個にもなります。テレビや、新聞・広告などから竹細工に取り入れられそうなアイデアはどんどん取り入れ、工夫されています。「仕事では、より良いものをより短時間でつくり上げることを大切にしてきました。体に染み付いているんでしょうね」と話してくださいました。竹は固い材質で、また丸い形をしているため、加工が難しい樹種です。速水さんは「やわらかい木を使えばもっと簡単にできます。けれど、難しい分ひと目見たときの感動と達成感からやっぱり竹から離れられません」と話されます。



▲南比都佐地区の文化祭に出品された作品

●作品がつながりに

速水さんの作品は、その素晴らしさから近所や友人の中で評判になり、看板や表札、結婚祝いとして贈っておられます。

また、昨年は南比都佐地区の文化祭にも出品されました。「文化祭に出品すると、知らない方からも『作品を見たよ』と言っていたきました。今年も出品する予定です。そろそろ作品づくりにとりかかります」と今まで考えていたアイデアをいかそつと、目を輝かせておられました。

必佐古文書を読む会の皆さんが町に寄附をしてくださいました



このたび、必佐古文書を読む会(野邊洋一代表)の皆さんが、会の解散にあたり、活動資金の残金を町に寄附してくださいました。

必佐古文書を読む会は、必佐公民館を活動拠点として約20年間、各家庭など地域にある古文書を読み、研究しておられた団体です。

町の地域振興のため、有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

必佐小学校 2014地域安全マップコンクール 滋賀県教育長賞受賞

必佐小学校は平成17年度から毎年、通学路安全マップづくりに取り組んでおられます。そして、このたび、滋賀県警察署2014地域安全マップコンクールで、滋賀県教育長賞を受賞されました。

通学路安全マップは、必佐小学校で1年に1回、2年生と地域の防災・防犯組織である必守会さんが協力して作成されています。必佐小学校のマップの特長は、通学路と一緒に歩き、大人目線と子ども目線で危険箇所を書き込んだマップであるということです。必守会の村島茂男会長は「マップ作りは地域の大人と子どものつながりを深めるきっかけにもなる」と地域の子どもと大人と一緒に安全について考える大切さを話されました。

必佐小学校さん、おめでとうございます。

